

速硬モルタル

乾モルクイック

プレミックスモルタル

特長

3時間で実用強度が発現し、長期強度もセメントモルタル並みに出ます。
 使い方は簡単、水を加えるだけ。
 お急ぎの工事に最適です。

用途

一般モルタル工事

- コンクリート補修
- 支柱充填
- 屋内外の床、壁

品種、荷姿、仕様

乾モルクイック **QR15**

乾モルクイック **QR30**



可使時間=15分



可使時間=30分



NET 20kg・ポリ2P (容積=10.6^{リットル}/袋)

標準使用量 = 95袋 (1,900kg)/m³

加える水の量 = 3.1~3.2^{リットル}/袋

モルタル温度 = 10~30℃

1袋の施工面積

厚さ	7mm	10mm	15mm	20mm	30mm
m ² /袋	1.51	1.06	0.71	0.53	0.35



上記の可使時間は20℃の場合の時間です。温度が高ければ可使時間は短くなります。30℃の場合、可使時間は半分程度になりますので、ご使用に際してはご注意ください。

試験結果

試験項目	試験結果										試験方法
	QR15					QR30					
容積 (W/A)	10.6 ^{リットル} (15.6%)					10.6 ^{リットル} (15.6%)					JIS R 5201
フロー値	180mm					190mm					
材齢	3h	24h	3日	7日	28日	3h	24h	3日	7日	28日	
曲げ強さ	1.7	2.1	2.2	7.4	8.6	1.0	2.0	2.1	7.2	8.9	
圧縮強さ	5.6	6.5	7.7	22.7	37.6	4.4	6.1	7.6	24.3	36.5	

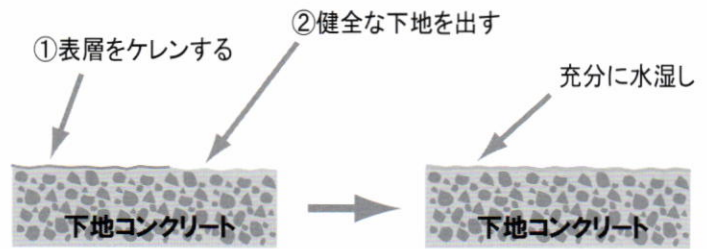
※試験結果の数値は本製品の技術情報として提供するもので、保証値ではありません。予めご了承下さい。

施工手順

下地処理

1. 下地コンクリートの脆弱部、レイタンス、汚れを除去し、掃除します。
2. 下地コンクリートを水湿しします。
樹脂プライマーを用いる場合は樹脂の仕様に従います。

●水湿しを十分に



練り混ぜ

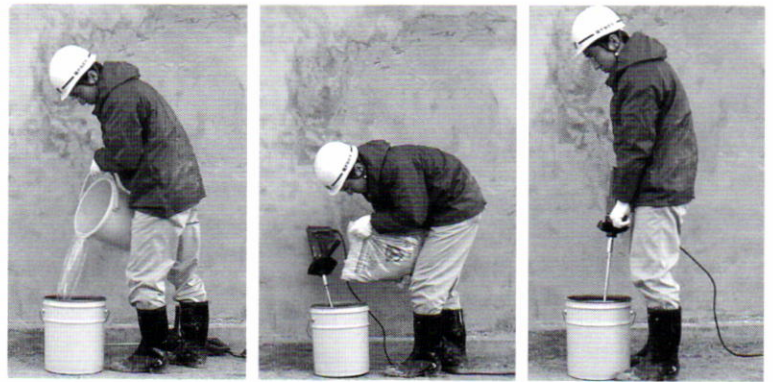
練り混ぜは、先に練混ぜ容器に規定量の水を入れ、続いて**乾モルクイック**を半分程度入れます。

次にハンドミキサーで5～10秒程度練混ぜ、残りの**乾モルクイック**を入れて1～1.5分程度練混ぜます。

希望する軟らかさにするには水の量で調整します。

- ※練り混ぜる水は清浄な水を用いて下さい。
- ※水以外のものは絶対に混ぜないで下さい。
- ※練混ぜ器具は常に綺麗な物を用いて下さい。
- ※練足しはしないで下さい。

- 手早く混ぜる
- 常に綺麗な器具を使用
- 練り足しをしない

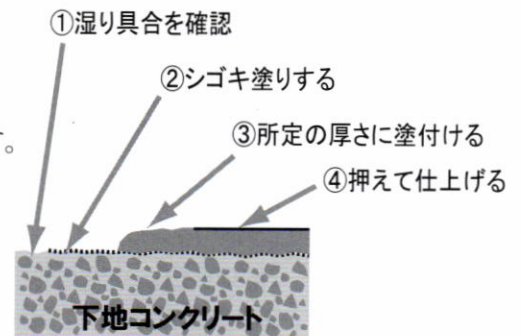


- ①容器に水を入れる
- ②モルタルを半分入れる
- ③練混ぜる
- ④残りのモルタルを入れる
- ⑤再度練混ぜる

施工

1. 下地コンクリートの湿り具合を確認し、乾いていたら水湿しします。
2. 練混ぜた**乾モルクイック**を、鍍圧を掛けて下ごすりします。
3. 続いて手早く所定の厚さまで塗付けます。一度に塗付ける厚さは7～10mmを目安とし、それ以上は付け送りして所定の厚さにします。
4. 塗付けが完了したら、可使用時間の内に鍍押さえして仕上げます。

●可使用時間内に施工完了



養生

施工が完了したら急激な乾燥や凍結を防止して養生します。

- ※3時間後には実用強度が発現します。
- ※温度によって速硬性が変わります。事前に試験して下さい。

⚠️ 注意事項

本製品はセメントを主要結合材とした業務用既調合モルタルです。粉塵が立ち易く、水に濡れると強アルカリ性を示します。取扱いに際しては保護具(ゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡など)を着用して下さい。誤って皮膚に付着した時は直ちに洗浄して下さい。又、洗浄しても皮膚に異常を感じた時や、眼に入ったり、吸引したり、飲み込んだりした時は、洗浄などの応急処置を施した上で専門医の診察を受けて下さい。

乾モルクイックのご用命は _____

 **陽光物産株式会社**

本社/広島県福山市箕沖町105番7
〒721-0956 ☎(084)954-1751

<http://www.yokobussan.co.jp>